

在日本朝鮮青年商工会第27回総会開催



在日本朝鮮青年商工会（青商会）第27回総会が16日、三重県の都ホテル四日市で行われ、朴久好第1副議長兼組織局長と各副議長、中央青商会・崔炳琥会長をはじめとした役員や代表ら、305人が参加しました。

崔炳琥(チェ・ビョンホ)会長のあいさつでは、「新時代 魂！」のスローガンのもと、昼夜を問わず奔走してきた参加者らを称えながら、各層の同胞らの力を結集させ、総聯組織と民族教育の明るい未来を開くため、これからも同胞と子どもたちのために尽力しようと呼びかけがありました。

続いて中央幹事長の25期事業報告がありました。

民族教育支援事業、同胞青年らの経済と生活を支える事業、青商会組織の機能を強化する事業などにおいて生まれた数多くの成果を報告しました。

また、27期事業の方向性として、2年後に迎える青商会結成30周年を念頭に、▼民族教育支援事業をリードする「主導型」の青商会、▼同胞青年らの経済と生活を支える事業をより広く展開し、同胞青年らに実利を与える「実利型」の青商会、▼すべての地方、地域で青商会組織が活発に活動する「実践型」の青商会を目指し実現することに定め、5つの主要課業を提示しました。

総会では、東京都荒川地域青商会・朴徹剛会長、愛知県名中地域青商会・申泰秀会長、京都府伏見地域青商会・徐一繁会長、中央青商会・朴昌赫副会長の討論があり、総会では金敏寛新会長、宋明男幹事長をはじめとした第27期中央青商会の役員らを選出され、全ての議案が全会一致で採択されました。

総会では特に青商会が「豊かな同胞社会のために」、「コッポンオリたちの輝かしい未来のために」のスローガンを実現し、新時代を開くための運動をリードする決意が改めて強調されました。総会では26期のあいだ、各地方および地域青商会のモデルとなった単位が表彰されました。

第26期KYC運動 表彰単位

◇ 優秀KYC賞(全61)

北海道青商会
宮城県青商会
東京・荒川地域青商会
東京・足立地域青商会
東京・葛飾地域青商会
東京・墨田地域青商会
東京・江戸川地域青商会
東京・中央江東地域青商会
東京・新宿地域青商会
東京・中野杉並地域青商会

東京・渋谷世田谷地域青商会
東京・大田地域青商会
東京・城南地域青商会
東京・台東地域青商会
東京・文京千代田地域青商会
東京・北地域青商会
東京・豊島地域青商会
東京・板橋地域青商会
東京・練馬地域青商会
神奈川・鶴見地域青商会

神奈川・横浜地域青商会
神奈川・中北地域青商会
神奈川・神港地域青商会
神奈川・湘南西湘地域青商会
西東京青商会
西東京・町田地域青商会
西東京・東部地域青商会
千葉・千葉地域青商会
千葉・西部地域青商会
千葉・東葛地域青商会

茨城県青商会
愛知・名中地域青商会
愛知・尾張地域青商会
愛知・東春守山地域青商会
愛知・名東地域青商会
愛知・南地域青商会
愛知・名港地域青商会
北陸青商会
三重県青商会
大阪・生野西地域青商会

大阪・八尾柏原地域青商会
大阪・中西地域青商会
大阪・東阿地域青商会
大阪・東成地域青商会
大阪・生野東地域青商会
大阪・生野南地域青商会
兵庫・尼崎東地域青商会
兵庫・加印地域青商会
兵庫・西神戸地域青商会
兵庫・須磨垂水地域青商会

兵庫・明石地域青商会
兵庫・姫路西地域青商会
京都・伏見地域青商会
京都・洛南地域青商会
京都・洛西地域青商会
滋賀県青商会
山口・下関地域青商会
九州・遠賀地域青商会
九州・小倉地域青商会
九州・八幡地域青商会
九州・福岡地域青商会

◇ 部門別KYC賞

優秀幹事会運営部門
民族教育支援事業部門
経済サポート事業部門
生活サポート事業部門
宣伝広報事業部門
準正規教育事業部門
3大愛国事業部門

京都・洛南地域青商会
茨城県青商会
兵庫県KYC+
東京・新宿地域青商会
東京・足立地域青商会
愛知・尾張地域青商会
兵庫県青商会対外事業部

◇ 最高活躍会員賞 (MVM)

愛知・名中地域青商会

申泰秀 会長

◇ 最優秀地方KYC賞

茨城県 青商会

◇ 最優秀地域KYC賞

愛知・名中 地域青商会

◇ 特別KYC賞

近畿ブロック・三重県青商会
ひらパースペシャル遠足

◇ 魂！賞

千葉県青商会
三重県青商会
九州・遠賀地域青商会

◇ 最優秀ブロックKYC

中四国ブロック

第27回総会の様子



1部



2部



今月号も必見！朝青紹介コーナー！
朝青から青商会へ、未来へのバトン繋いでいきましょう！

各分野で活躍するスーパーセセデたちを紹介！

Sesede's Interview



司法書士補助者
下臺樹

プロフィール

ぴょん・てす／

2000年生／千葉初中／東京朝高／

日本の大学卒

趣味は野球観戦、ゴルフ

昔から法律に興味があったテストムは、司法書士事務所の補助員をしながら現在朝青千葉支部で役員として活躍している。学生の頃は留学同にも積極的に参加し、千葉同胞社会のために活動する日々を過ごしている。学生の頃からの活動で一番思い出深かったのは、大学1年生の時、勝浦の方まで伊勢海老を食べにいくという朝青の班モイム。念願の伊勢海老を食べた後、「横浜にいくぞ」と言われ、100キロ以上車を飛ばした先は、神奈川朝高で行われている留学同主催の「統一マダン」だった。その日自分が出したお金は水代の100円だけだったという。先輩たちに可愛がられ、楽しい場に参加していたら、いつの間に役員になっていた。最初は勢いでやった役員だったが、自分が場に呼ぶ側になって、意識が変わった。

千葉朝青の地域がらやはり地元のトンムが多く、朝青＝千葉の子達というイメージが定着している。しかし日校対策部として日校生たちと触れる中で、「ウリハッキョ」雰囲気の中での「みんな」が楽しめるような場にするかを考えるようになったという。連携を常に取りながら、訪問も積極的に行い、自分たちの存在を認知してもらえるよう土日は基本活動が入り忙しい毎日を送っている。だが、仕事を両立するのはそんなに大変ではないという。活動が1日もない日は何か物足りなく、こっちの方が性に合っているのかもしれないと笑顔で語るテストム。活動のモチベーションはやはり、日校生たちがウリマルを使う姿、「次また誘ってください」と楽しんでくれる朝青員たちの姿だ。自分の代でしっかり固まって、これから社会人になる下の子達を暖かく迎えられるような支部にしたいと語るテストムの頼もしさに心温まるインタビューであった。

Let's検索! 今月のセセデword

Instagramはもう古い?! BeRealとは



Instagramが登場し、SNSは大きな進化を遂げた。多くの加工アプリや、数十秒の動画を編集しアップするようになり、誰もが気軽に表現の発信をできるようになった。しかし画面上のきらきらした日常のフィーチャー、加工済みのスタイルが切り出されることで、コンプレックスを刺激されるなど若い世代にネガティブな影響をもたらすことも社会問題としてあげられるようになった。「映え」にこだわりすぎるのは「イケてない」と感じるようになった若者の中で爆発的な人気を起こしたのが、「リアルを共有すること」に特化したSNS、BeReal。①一日一回ランダムな時間にユーザー全員に通知が来る。②通知が来たら2分以内に撮影し、投稿する。この2つのルールがこのアプリの肝である。リアルな風景を視界のまま分かち合う、「リアルさ」を追求したSNS。ぜひお試しあれ。

【今月の朝青PICK UP!】

大 [chochong.osaka.ikunominami](https://chochong.osaka.ikunominami.com)



9月になってもまだまだ厳しい残暑の中、朝青生野南支部では夏の風物詩「麦酒庭園(ビアガーデン)」に行ってきました！
予約してたので大丈夫だろうと時間に合わせて行ってみると、長蛇の列。暑さと喉の渇きが続く中、ついに痺れを切らした朝青員たちはどうすれば早く🍷に辿り着けるかを考え抜き、抜群の団結力で人混みの中山盛りの料理を見事ゲットしました👏
「バモス！」の乾杯から始まった行事は、9.9節、阪神優勝のお祝いムードの中、終始盛り上がりしていました！朝青の交流を深め、輪を広げていく重要なきっかけとなった行事でした★

#朝青大阪生野南
#朝青の華咲き誇れ